

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

末梢神経テタヌス刺激後経頭蓋刺激運動誘発電位の併用は術中神経モニタリング精度向上に寄与するか：日本脊椎脊椎病学会モニタリング委員会に登録されたデータを用いた
後ろ向き研究

1. 対象となる患者さん

2018年4月～2025年3月の間に当院整形外科において、術中神経モニタリングを用いて脊椎脊髄手術の治療を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 整形外科 撫井 貴弘

3. 研究の目的と意義

この研究は、カルテ情報を解析し、末梢神経テタヌス刺激後経頭蓋刺激運動誘発電位の併用が術中神経モニタリング精度向上に寄与するかを明らかにすることを目的としています。末梢神経テタヌス刺激後経頭蓋刺激運動誘発電位の有用性を調査し、術中神経合併症の予防に繋がることが期待されます。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、対照群と術中神経モニタリング臨床結果を比較します。

5. 使用する情報

診療情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、術前筋力、疾患名、手術時間、出血量、糖尿病の有無、術中神経モニタリングの経過と臨床結果

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 外部機関への情報等の提供

この研究では、対照群として日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会より情報提供を得て実施します。

提供される情報は、診療情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、術前筋力、疾患名、手術時間、出血量、糖尿病の有無、術中神経モニタリングの経過と臨床結果です。

日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会より他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないように加工された情報を受け取ります。奈良県立医科大学には日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会の対応表は提出されません。

8. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2027年12月31日

9. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

10. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 整形外科 撫井 貴弘

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：K176854@naramed-u.ac.jp